

インタラクティブな音読指導 (単語レベルからシャドーイング指導まで)

Interactive reading-aloud instruction: from word recognition to shadowing

鈴木政浩(西武文理大学)

2010年8月3日 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校

第2言語習得理論や英語教授法理論では、「必要悪」とさえ言われる音読であるが、読みに問題をかかえた児童生徒を対象とする **fluency** 指導に関する領域では、音読はきわめて重視されている。ここでは、この **fluency** 指導の知見にもとづき、音読指導の実践例と背景理論をご紹介したい。

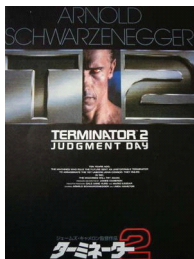
音読指導のポイント Fluency指導の視点から

- ペアやグループの活用 (Audienceを想定する)
- ゴールを明確に示す(集中度の継続)
- 手を変え品を変える(天井効果への対応)
- 目的に応じて活動や教材を選ぶ
- 繰り返し読み(Repeated Reading)
- モデル音声の提示と音声教材
- 活動そのものを目的とするのではなく、fluency指導のポイントを把握して取り組む

音読指導＝コーラスという考え方から、聞き手を想定したインタラクティブな音読指導のあり方に目を向けたい。その他音読には天井効果があることが知られている。また、単調な活動だと(学齢が低いほど)飽きやすいことも事実である。さらに **slower learners** にとって独習が困難なことも大きな特徴であり、これが英語基礎学力の形成にとって大きな障害となっている。また、音読能力は学習者の熟達度を知る目安になるとも言われている。

朗読シャドーイング

[Terminator 2 \(Original version\)](#)
[Terminator 2 \(Shadowing version\)](#)



洋画のオープニングやラストシーンにはモノローグが多い。こうしたシーンは、朗読の格好の素材となる。

Vous faites quelle taille? 資料p.1, 2

Anne: J'en prends deux comme ça.
Un pour moi et un pour ma fille.
Venduse: Vous faites quelle taille?
Anne: Du 38.
Vendense: Et votre fille?
Anne: Pareil. Elle fait du 38.

Let's Try!  オリジナル  85%  75%

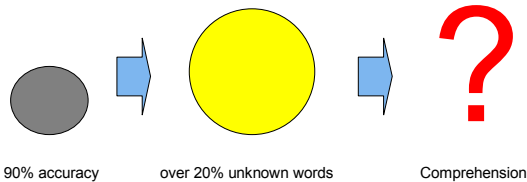
フランス語の簡単なダイアログを使って、実際にペアで音読に取り組んでみる。リズム読みは生徒にとって楽しい活動であるが、授業者にも大きなメリットがある。速度を調整することで、**word recognition**が自動化しているかどうかを診断することができるのである。また、単語の意味定着度も知ることができる。

基礎練習からシャドーイングへ

- 一語読み
- フレーズ読み
- 一息3回読み
- 3分間繰り返し読み

英検準2級にぎりぎり不合格となる程度の英語力があれば、**CNN**を教材としてシャドーイングに取り組むことが可能。単語ごとに読む活動を少しずつ発展させることで、短時間に音読能力が伸びたという錯覚を起こさせることができる。

単語の発音 Word recognition accuracy



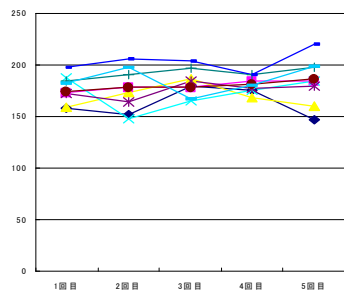
意味のわからない単語の数 = 1.51 + 読めない単語数 × 1.48

Independent Level:	96-100% accuracy (独習可能)
Instructional Level:	90-95% accuracy (ペア)
Frustration Level:	Below 90% accuracy (集中指導) Rasinski (2003: 158)

90% accuracyでは、50語のうち5語が読めない状態。5語が読めなければ、意味がわからない単語はおよそ**8.9語**あることになる(大学生のデータ)。全体の**20%**の単語の意味がわからなければ、理解にいたるのは難しい。したがって、**95% accuracy**を超えないテキストは、学習者にとって適切ではないと言われる。

Matthew Effects in Reading(Stanovich, 1986) や、**A divide and conquer strategy**(Samuels, 2002)などの現象につながる。

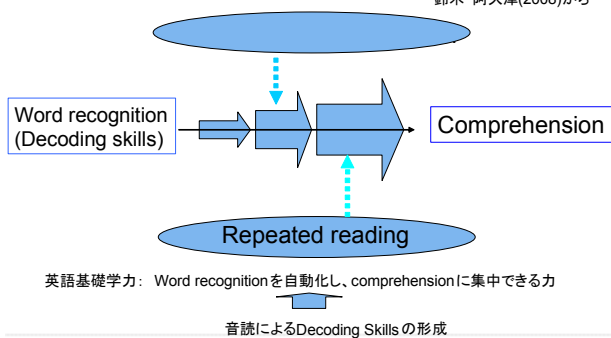
自己補正能力の問題



95% accuracyに至らない生徒の場合、何度音読練習をしても改善されない現象がみられる(自己補正能力が極端に低い生徒の存在)。こうした生徒には個別指導が不可欠。Word recognition accuracyを測定し、個別指導の対象となる生徒を選び出す。

Word recognitionからcomprehensionへ

鈴木・阿久津(2008)から



先行研究のまとめ

Word recognitionからcomprehensionにいたるまで、流ちょうな音読は必要不可欠である。この流れをスムーズにするためには、モデル音声による補助を得た上で、繰り返し読みに取り組むことで、Word recognitionが自動化され、脳のリソースをcomprehensionに関わる作業に宛てることができるようになると考えられる。

Let's Try!



CNNの音声を聞いてみる。どのような印象を持つだろうか。

- A change is sweeping through the agriculture industry. Alongside traditional food crops, a new trend is emerging. A countess in England hopes that her non-food crops will eventually provide a cheaper, greener alternative to oil-derived plastics.

資料p. 3



Let's Try!

■ A change is sweeping

through the agriculture industry.

Alongside traditional food crops,

a new trend is emerging.

A countess in England

hopes that her non-food crops

will eventually provide

a cheaper, greener alternative

to oil-derived plastics.

• Words & Phrases

sweep through: さっと広まる
the agricultural industry: 農業
alongside: ~と平行して
traditional: 従来の
food crops: 食用作物
emerge: 現れる
countess: 伯爵夫人
eventually: いずれは
provide: ~を与える
cheap: 安い
green: 環境に配慮した
oil-derived: 石油から生成された

Listen again!



次にシャドーイングにいたるまでの基礎的な練習の後、再度同じ音声を聞いてみる。3分続けて音読した後では、かなりゆっくりに聞こえるはず。

なりきりシャドーイング



学生がイヤフォンをしてCNNの音声を聞き、シャドーイングしている姿をビデオに撮ると、あたかもニュースキャスターになったように見える。

中学校の教科書教材から



Good evening. I'm Lynn Turner with today's news. There was a tornado today in the Midwest. It damaged many buildings, and some people were hurt. Many people lost their homes. One person said, "This was a beautiful town. Now I can't even tell where my house was." Emergency medical teams are now in the area.

One World English Course 3 (p. 61)



Well, winter is just about here. The women wearing chimnajoorti are taking part in kimjang. It's a traditional kimuchi-making festival held in the fall. After making the kimuchi, they'll put it in a pot and bury it in the ground. Their families will eat it during the winter.

One World English Course 3 (p. 63)

中学校検定英語教科書でも同様の活動が可能な課がある。携帯のカメラで教科書の画像を撮影し、パワーポイント等に貼り付ける。

ライブ・リーディング



OHPなどで画像を提示し、その前でマイクを持ってシャドーイングしている姿を録画する。シャドーイングが難しければ、原稿を持たせ、**Read and Lookup**をさせればニュースキャスター風映像が取れる。もしくは音読音声を録音し、画像に合わせて再生する。

英検3級レベル: Patch Adams

- 冒頭のシーン
 - オリジナル
- 英詩の朗読
 - [学生の朗読音声](#)

資料p.4,5



冒頭のシーンのオリジナル音声をミュートし、サウンドトラックと学生のシャドーイング音声をBGMトラックに貼り付けて編集すると、あたかも学生が映画の中で朗読しているような映像となる。英詩の朗読音声と、学生が作った対訳カードの画像を重ねる映像を使って音読評価に取り組む。

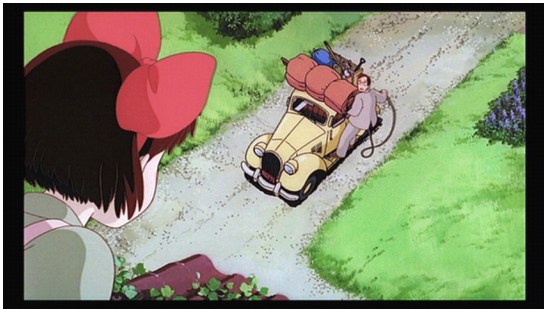
英検4級レベル: Dragonball

- [オリジナルシーン](#)
- 学生の平行リーディングの取組
 - [4月授業スタート時の音読音声](#)
(英検3級リスニング問題の英文)
 - [1文ずつ録音](#)
 - [オープニング](#)

資料 p. 6, 7

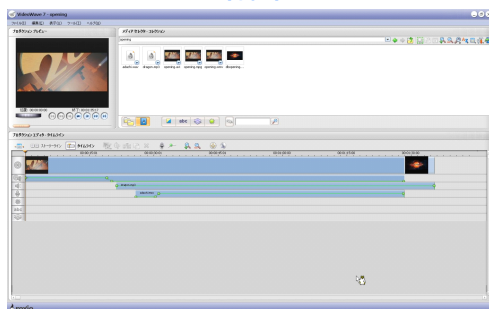
英検4級レベルから授業をスタートせざるを得ないクラスのパフォーマンス。4月の音読音声の状態から、1文ずつの録音を経て、オープニングの場面は一気に通して撮り切った。どの学生も1度合格を出しても、自分のパフォーマンスに満足せず、何度も撮り直す姿は感動の一言であった。

静止画の活用: 魔女の宅急便



音声を消し、動画を見ながら音読してもらうことで、自然なシチュエーションでRead and Lookupができる。

ビデオ編集ソフト

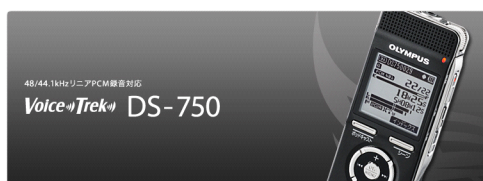


Roxio VideoWave 7 Professional の画面

5年ほど前に3000円程度で購入したVideo Wave 7 Professionalを現在も活用中。最近のパッケージソフトは、1万円前後となっているが、音声トラックが3つ(オリジナル、BGM、アフレコ)の3つあるものであれば機能としては十分。

機器の活用

- **ICレコーダー**
生徒の音読音声録音
 - 即時再生
 - パソコンへの直結とデータ保存



ICレコーダーは授業中常備し、音読音声を録音し、匿名で教室に流す。また、教師が英文を読み上げ、それを自習教材とすることも可能。現在メインで使用しているのはVoice Trek DS-750。1万円以下のレコーダーでも十分使える。

使用したソフトウェア

- [聞々ハヤえもん](#)(フリーソフト)
 - 音声ファイルの速度調整と再保存
 - 音声ファイルの一部を繰り返し再生
<http://soft.edofzoku.com/hayaemon2/>
- [SoundEngine](#)(フリーソフト)
 - 音声ファイルの加工
<http://www.cycleof5th.com/>
- VLC media player(フリー再生ソフト)
 - 静止画の切り出し
<http://www.videolan.org/vlc/>

フリーの速度調整ソフトを使用すれば、学習者の音読能力に応じた音声教材を提供することができる。
